

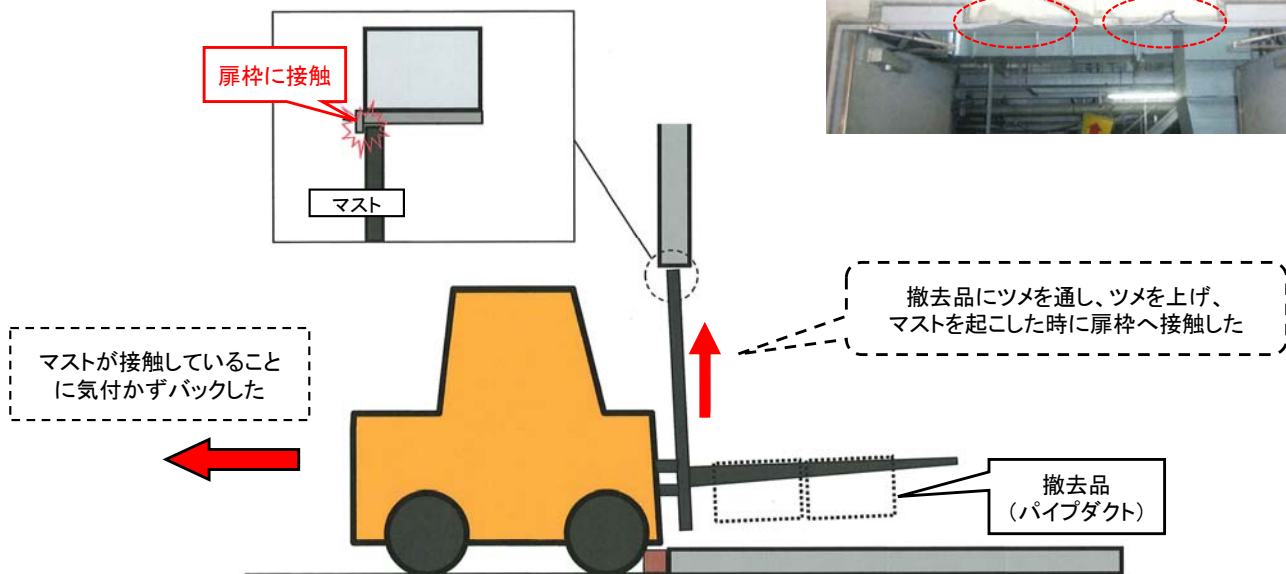
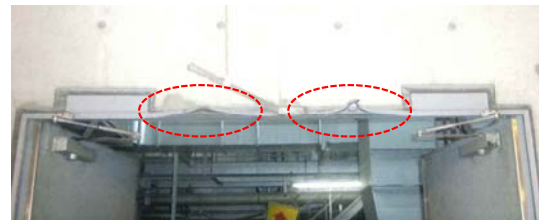
## フォークリフトを運転中 マストが扉枠に当たり損傷させた

## 【発生状況】

フォークリフトで撤去品を運搬中、荷を乗せてツメを上げマストを起こした際にマストが扉枠と接触したが、運転者は接触していることに気が付かずそのまま後退したため、扉枠を損傷させた。

※誘導者は他作業班へ応援に行っており不在だった。

【損傷状況】



## 【原因・問題点】

- ①周囲の確認不足。(特にツメやマスト等の可動部への注意が不足していた)
- ②誘導者がいなかった。(誘導者が他作業へ応援に行っていた)

## 【対策】

- ①フォークリフトでの作業は、死角や見えにくい箇所だけでなく、可動部の状況をよく確認しながら作業を行う。確認しづらい場合は、誘導者等に確認してもらいながら作業を行う。
- ②誘導者や監視人は安易に自分の持ち場を離れない。